

## 令和5年分 名古屋港貿易概況（速報）の要旨

令和5年分について、輸出額は「自動車」などが増加したことから、対前年比8.4%の増加となった。また、輸入額は「絶縁電線及び絶縁ケーブル」などが増加したものの、「液化天然ガス」「原油」などが減少したことから、同1.8%の減少となった。  
その結果、差引額は7兆9,447億円（同19.8%の増加）となった。

注) 本資料中の「伸率」及び「増加・減少」は、前年比による  
また、★印は名古屋港において全ての年を通じて過去最高を示す（1979年以降のデータを基礎として比較）

### ○総額

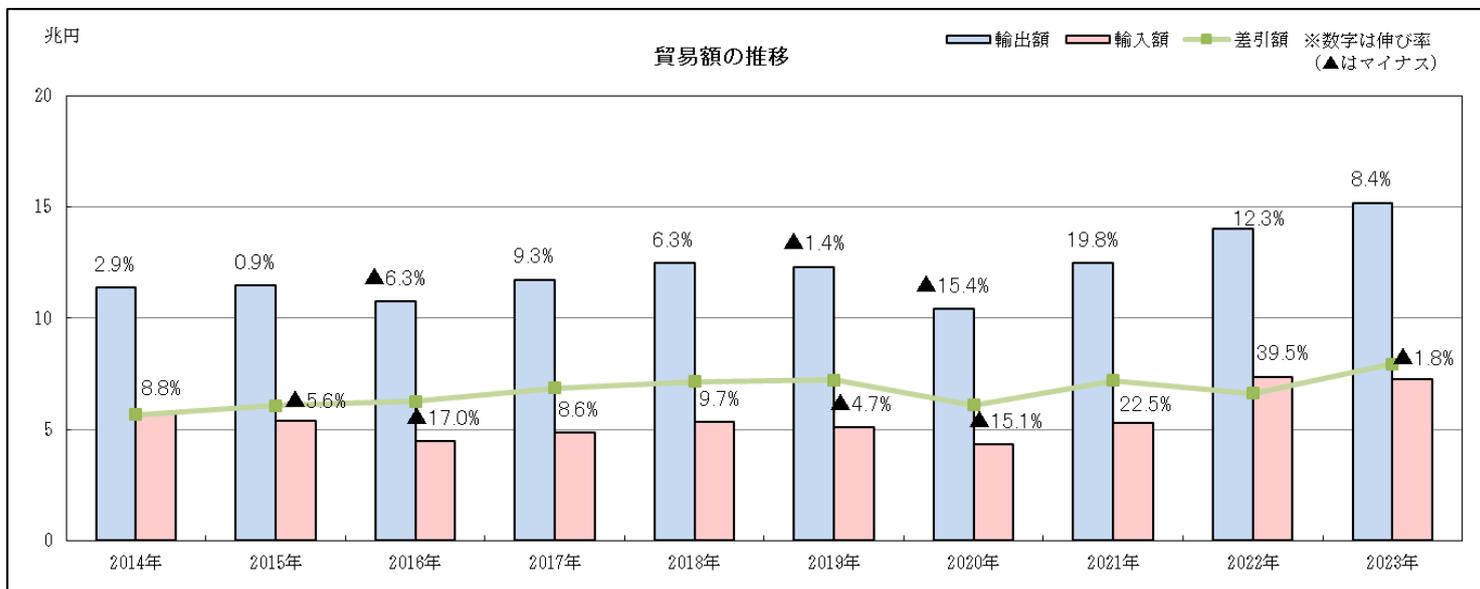
区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額	伸率
名古屋港	★ 15兆1,945億円	+8.4%	7兆2,498億円	▲1.8%	★ 7兆9,447億円	+19.8%
	3年連続の増加		3年ぶりの減少		2年ぶりの増加	
管内（名港シェア）	23兆9,559億円（63.4%）		13兆8,263億円（52.4%）		10兆1,297億円（—）	
全国（名港シェア）	100兆8,866億円（15.1%）		110兆1,779億円（6.6%）		▲9兆2,914億円（—）	

注) 名古屋港における輸出額は、3年ぶりの全国港別（空港を含む）第1位

注) 名古屋港における差引額は、平成10年以降26年連続 全国港別（空港を含む）第1位

### ○主な増減品目

	概況品名	金額	伸率	寄与度	増減
輸出増加	(1) 自動車	★ 4兆5,571億円	+34.6%	+8.4	3年連続の増加
輸出増加	(1) 絶縁電線及び絶縁ケーブル	★ 4,243億円	+22.9%	+1.1	3年連続の増加
輸入減少	(1) 液化天然ガス	5,809億円	▲19.7%	▲1.9	3年ぶりの減少
輸入減少	(2) 原油	5,249億円	▲17.3%	▲1.5	3年ぶりの減少



### ★名古屋港について・・・

本資料における名古屋港の数値は、輸出入された貨物の蔵置場所を管轄する次の税関官署を基準に集計しています。

名古屋港の税関官署とは、名古屋税関本関（含岐阜政令派出所）、中部外郵出張所、南部出張所、諏訪出張所（含長野政令派出所）、西部出張所をいいます。